はつかいち市議会 議会広報

さくら

-SAKURA-

令和8年11月1日
NO.91



9月30日 本会議終了後

特集

廿日市市議会議員がおすすめする 私の好きな「はつかいち」の〇〇

我らチーム議会

議員には、議員個人が活動する議員活動と、チームで活動する議会活動があります。

廿日市市議会ではさまざまな改革を進めていますが、チームとしての議論や協力ができなければ改革の実現はできません。

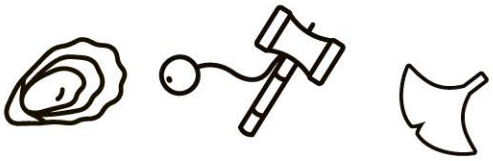
今後も我らチーム議会にご期待ください。

CONTENTS

特集 …2
主な議案 …5
一般質問 …7
議員全員協議会 …13
常任委員会活動議題 …15
委員会活動レポート …16
意見書・議決結果 …17
キラリ！ はつかいちの高校生 …18

の○○

場所や風景、モノなどを紹介します。





けん玉商店街

新沢 亮二

私の好きな風景はけん玉商店街の夕暮れです。たくさんの人との交流や美味しいものが集結した最高のパワースポットです。



四季が丘からの瀬戸内の景色

井手ヶ原 誠

私の住む四季が丘からは瀬戸内の多島美が見られ、その美しさは格別です。写真は本年の初日の出です。



はつかいちの食べ物 秋山 妙子

はつかいち産の海・山・里の幸が大好きです。大野あさりは「酒蒸し」に。オクラの花はサラダに添えて食べました。生産者との距離が近いのも魅力です。



玖島花咲く館

山下 竜太郎

写真は2025年、玖島花咲く館のイチョウです。ランチを食べ、野菜を買い、夏祭りに参加、と1年中通っています。



県内外旅行に必携の“はつかいちＴシャツ”

吉屋 智晴

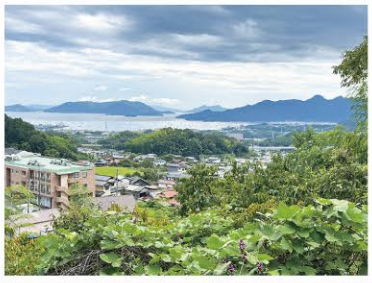
カープ好きの方、広島や廿日市にご縁のある方と会話が生まれる。そんな素敵なTシャツ。



極楽寺から望む廿日市

水野 善丈

眼下には市街地と牡蠣筏、その先には宮島が浮かびます。海と山、人々の暮らしが調和する、私の好きな廿日市の景色です。



原から見える風景 枇杷木 正伸

原の伊勢神社からごごり山を上から眺めると、宮島を初めとする瀬戸の島々が遠くに霞んで見えます。天気の良い日はとてもよく見え元気をもらえます。



泉水峠

半明 晃二

泉水峠から瀬戸内海を臨む風景も格別です。虫道廿日市線(玖島地区泉水－原地区川末)の県道としての早急なる開通を望むところです。



住吉地区の桜土手

濱本 紀洋

春には満開の桜でトンネルができ、その中を歩くと廿日市地区に生まれて良かったと嬉しさがこみ上げる自慢の場所です。

私の好きな「はつかいち」

27名の議員が大好きな廿日市市の



自然の風を感じ、ゆったり過ごせる、“キャンプが大好き!”

佐々木 由華

いつもと違う場所で、食べるご飯は格別。廿日市はキャンプ場がたくさんあって最高！



思い出深い場所 三宅 洋一

妹背の滝から大頭神社横を流れる川は、私の大好きな場所です。毎年、施設の子ども達と、生き物を探しながら滝の清々しさを楽しんでいました。



けん玉

松浦 るみ

けん玉発祥の地・はつかいち。世代を超えて、遊び方も、楽しみ方も、可能性は無限大∞。

写真はマイけん玉です。



はつかいちの薔薇 坂本 和博

廿日市は県内最大の切り薔薇の産地。生産者が丹精込めて育てる鮮やかで高品質な薔薇は、芸術品です。写真は、愛妻の誕生日に贈った薔薇です。



廿日市の鮎

山崎 英治

豊かな自然ときれいな水が育む夏の風物詩「鮎」。この自然を汚すことなく子々孫々引き継いでいく使命が我々にある。



瀬戸内の眺め 梅田 洋一

オリーブオイル漬けにした地元産カキを食べながら見る瀬戸内海の風景が好きです。

場所は遊園地の跡地です、探してみてください。



地御前神社

北野 久美

かつて嚴島神社の外宮とされた地御前神社。凛とした社殿と宮島を望む風景に、古くから続く歴史のつながりを感じます。



妹背の滝と大頭神社 中島 康二

妹背の滝は迫力ある雄滝としなやかな雌滝がありますが、雌滝を借景にした大頭神社は、青々した樹々としなやかな雌滝と一体化して、素敵な景色です。



まるくる大野 大﨑 勇一

今までの市民センターは、用事があって行くところというイメージ。まるくる大野は用事がなくても行ける。楽しいイベントもたくさんあるよ！

私の好きな「はつかいち」の〇〇

27名の議員が大好きな廿日市市の場所や風景、モノなどを紹介します。



水辺（写真は玖島川）

大畑　美紀

いたる所に気持ちのよい豊かな流れがあります。川遊びができるし、農業用水路には沢ガニやオオサンショウウオなども。



妹背の滝

井上 佐智子

大頭神社の裏にある妹背の滝。繊細な雌滝と水量が豊富な力強い雄滝。孫たちの笑顔弾む夏休みの一日が大切な夏の記憶に。



大野地域集会所施設

山田 武豊

大野地域の集会所は、各地区に点在して適度な広さ。趣味、教育、福祉の活動など、地域住民が手軽に利用できる場となっています。



はつかいちの季節の風景

栗栖 俊泰

海から山まで四季折々の表情の廿日市市ですが、イチ押しの景色はダイヤモンドダストと雪景色です！（21年1月撮影）



小田島公園

高橋 みさ子

毎日、宮島から昇る朝日を浴びてウオーキングしています。車中泊にも人気で、県外ナンバー車がよく停まっています。



大鳥居

佐々木 雄三

ライトアップされた大鳥居。大勢の観光客がその景色を楽しんで、天気が良い日はさらに夕焼けが彩を添えてくれます。



佐方八幡神社　新田 茂美

推古天皇の時代に創建され、境内にある江戸期の絵馬額、伊能忠敬の師の堀田仁助の石灯篭は有名です。秋祭りには奉納神楽も行われます。



重なり岩

岡本 敏博

佐伯地域の津田にある重なり岩は、私にとって大切なスポットです。落ちそうで落ちないご利益で、選挙は落ちたことなし♪



空山（峠富士）

堀田 憲幸

空山の麓で78年、私の育ての親、綺麗な稜線は富士山の如く堂々とした姿だ。誰が名付けたか別名「峠富士」

9月定例会

廿日市市のこんなことが決まりました

会期30日間　9月1日～9月30日

今号ではこの中から3つをPick up

議案等の状況

令和８年度補正正予算
一般会計・特別会計 …… 2件

条例案
廿日市市一般廃棄物処理施設の設置に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例の一部を改正する条例など …… 4件

人事案件
廿日市市固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について …… 2件

その他の事案
工事請負契約の締結についてなど …… 7件

報告
市が資本金の２分の１以上を出資等している法人の経営状況説明書について …… 3件

発議
学校給食費の抜本的な負担軽減(いわゆる給食無償化)を求める意見書など …… 2件

閉会中の継続審査
令和７年度決算認定 ……11件

閉会中の調査
所管事務調査 …… 1件

計32件

Pick up 1

物価高対応　地域公共交通事業者・小規模事業者・中小企業を支援

〈議案第66号〉令和８年度一般会計補正予算（第２号）

物価高騰の影響を受ける事業者を支援します。財源は国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金です。
利子補給基金創設のため必要な条例も併せて制定しました。

地域公共交通事業者へ燃油費高騰支援　２３７６万１千円
地域公共交通事業者（当初予算で措置済みのバスは除く）に対し燃油費高騰影響額の2分の1を補助　広島県との協調補助

小規模事業者・中小企業への支援
・中小企業融資信用保証料補給費補助金　２３０万円
・小規模事業者経営改善資金利子補給費補助金　２９０万円
・小規模事業者経営改善資金融資利子補給基金積立金　２２５０万円

≪債務負担行為≫
小規模事業者経営改善資金融資に関する利子補給金
【期　間】 令和９年度～10年度
【限度額】 ２２５０万円

こんな質問が出ました

Q 地域公共交通事業者への支援だけでなく、市民への給付も考えては。
A 支援の仕方は調査研究していきたい。

Q 中小企業・小規模事業者への補助金の補助件数の見込みは。
A 中小企業融資信用保証料への補助金は9件を想定し、小規模事業者経営改善資金への補助金は96件×2年分を想定している。

Pick up 2

宮島水族館
新たに指定管理者制度を導入

〈議案第71号〉公の施設の指定管理者の指定について

現在の宮島水族館は、市の直営による管理運営業務と、業務委託による民間事業者が実施する施設維持管理等により運営しています。事業契約が令和8年7月末に終了することに伴い、新たに6社で構成する宮島水族館共同事業体を指定するものです。

指定管理者は、10年間で12億6170万8千円を市に納付する契約です。

【指定管理者となる団体の名称】

・宮島水族館共同事業体

代表者　(株)アクアメント

構成員　(株)冨山学園、(株)合人社計画研究所、(株)JTB、(株)中国四国博報堂、(株)オークコーポレーション

【指定の期間】

・令和9年4月1日～19年3月31日

こんな質問が出ました

Q　3団体から参加申請があったとのことだが、選定の理由は。

A　これまでの水族館の運営実績や、今後の宮島水族館の具体的な運営に対しての方向性が示された点のほか、利益の一部を施設の魅力向上に再投資するという運営手法が評価された。

Pick up 3

市内3つの自転車駐車場
機械化対応の指定管理者へ

〈議案第73号〉公の施設の指定管理者の指定について

廿日市駅前自転車駐車場など、3つの駐車場の指定管理者の指定期間が、令和9年3月31日をもって満了することに伴い、次のとおり指定管理者を新たに指定しようとするものです。

新たな指定管理者は、駐輪施設の機械化やキャッシュレス化などにも対応する予定です。

【公の施設の名称】

・廿日市駅前自転車駐車場、宮内串戸駅前自転車駐車場、大野浦自転車駐車場

【指定管理者となる団体の名称】

・ニップス・アーキエムズ共同事業体

代表者　(株)ニップス（福岡県福岡市博多区）

構成員　(株)アーキエムズ（京都府京都市中京区）

【指定の期間】

・令和9年4月1日～19年3月31日

こんな質問が出ました

Q　共同事業体2社の役割分担を問う。

A　出資9割となるニップスが全体の運営を、出資1割となるアーキエムズが機械の導入、メンテナンスの部分を行う。

議員のQ&A 市の 一般質問

一般質問とは？

議員が、市政全般に関して執行者（市長等）にその執行の状況や将来の方向、また住民生活に密接に関わる事項等について質問すること、あるいは政策を提言することをいいます。皆さんの生活に関わる大切な質問です。あなたが関心をもった質問はありますか？

質問議員　14名
質　　問　26項目

質問・答弁要旨は質問した議員が書いたものですが、その後、広報広聴特別委員会において校正を行っています。その他の質問については、廿日市市議会ホームページで映像をご覧いただけます。



大﨑　勇一 議員

水之越住宅跡地の今後の活用方法は

問　水之越住宅の跡地に行くためには、「みのこしはし」しか現状ないと思うが、この跡地を活用するにあたってこの橋は十分幅員があると言えるのか。

答　フジタスクエアまるくる大野では、現在、年間約60万人の利用者があり、大きなイベント等の開催時には15台～150台程度の駐車場が不足しているため、臨時駐車場を水之越住宅跡地に整備することとしている。

「みのこしはし」は、一般的な生活道路の有効幅員5mが確保されており、乗用車の離合が可能である。

臨時駐車場として利用する場合には「注意誘導看板」の設置や、イベント主催者により交通誘導員を配置するなどの安全対策を講ずることとしたい。

問　まるくる大野と臨時駐車場間にも歩道を整備する必要があると思うがどうか。

答　現在、フジタスクエアまるくる大野へのアクセス性向上に資する道路を整備している。これが完成すると、永慶寺川沿いの道路を通行している車両の多くは新道路を通行し、川沿いの道路の交通量は減少すると考える。よって、川沿いの道路の歩行者の安全性は向上するものと考えていることから、現時点で歩道整備を行う計画はない。

その他の質問
・サンチェリーへのアクセス向上について



岡本　敏博 議員

火葬後の貴金属売却で収入の確保を

問　火葬後の残骨灰に含まれる金、銀、プラチナなどの売却で収入を確保すべきでは
①市民アンケート調査はどうか。
②売却による収入はどのくらい見込めるのか。
③調査し実施するべきではないか。

答　①必要であれば実施する。
②正確な見込みは難しい。
③慎重に調査したい。

農業法人の応援を

問　もうかる農業へと変わっていくような農業改革を進めなければ耕作放棄地は更に増える。農業法人の経営が安定するような応援策が必要と思うがどうか。

答　農業法人は、農業の継続が困難になった農地の受託の受け皿として、本市農業の振興に欠かせない存在であり更なる体制強化が必要と認識している。

まずは収支、人材、生産、販売といったさまざまな状況を詳細に伺う機会を設け、持続可能な法人経営という視点から、どういった支援策が効果的なのか検討していきたい。

スクールドッグ※1の導入を検討してはどうか

問　「安心できる居場所づくり」などを目的に徐々に広がりを見せているスクールドッグについて調査し導入する考えは。

答　生徒の主体性を大切にし教育委員会主導での導入はしない。





井上　佐智子 議員

大野ハートバス停留所の屋根と椅子の設置は

問　**令和6年に質問したが、屋根と椅子の調査結果はどうか。**

答　実態把握は、屋根や椅子の有無や歩道の幅員の測定を行った。499か所のバス停があり、屋根がないものが471か所、うち大野ハートバスは115か所。椅子のないバス停は361か所あり、歩道幅員が確保できるバス停は49か所、うち大野ハートバスは14か所である。

整備方針としては、身体的負担の軽減の観点から椅子の設置を優先していく。その際、利用者数や歩道の確保ができるかを踏まえた整備となる。必要な歩道が確保できないバス停でも、管理などのルールを決めて地元住民団体などの協力があり、安全に設置できるなら椅子を設置していく。

バス停での待ち時間を短くすることも負担軽減につながるので「広島公共交通ナビくるけん」の利用も促していきたい。今年70万円の予算で、廿日市地域と大野地域に1か所ずつ椅子を設置する。



グリーンハイツ上りバス停

その他の質問
・登録有形文化財[※2]の宮島細工を重要有形文化財[※3]に
・ふるさと納税自動販売機の設置について



新沢　亮二 議員

姉妹都市とより具体的な地域経済交流を

問　**本市はアメリカ・ハワイ州ハワイ郡及びニュージーランド・マスタートン市と姉妹都市提携を結んでいる。特にハワイ郡とは本年11月に行政訪問も予定されるなど、交流が本格化しようとしている。さらにこれからの自治体間の国際交流には、文化や教育だけでなく、地域経済活性化につながる具体的な経済交流や観光振興、企業間連携が求められている。今後の本市の経済発展のためにも次の点について問う。**

①これまでの姉妹都市交流の成果をどのように評価しているのか。

②姉妹都市との企業間連携による地域経済の活性化に対する本市の考えは。

答　①マスタートンとは28年にわたる長い間交流を重ねたことにより、市民同士の交流、企業等協力者との信頼関係も構築できている。ハワイ郡とは昨年、ハワイ郡の中学生13人が宮島を訪れ、文化体験等を行った。

②企業間連携による地域経済活性化については、姉妹都市それぞれの産業特性を理解し、経済交流への道筋や意向なども確認しながら実効性ある取り組みを検討していく。





梅田　洋一 議員

改革はできることからやってみる

問　**市は今年度、行政経営改革の一環として、複数の部署で行われている共通業務を集約し、効率的に処理するための仕組みである「共通事務センター」を導入し、スモールスタートで取り組んでいるが、来年度の拡充項目は。**

答　既に大部分を集約している事務用消耗品や公共料金に関する共通事務について、現在も各所属に残っている事務の更なる集約を検討している。

今後、今年度の試行結果や業務量、集約による効果、実施体制などを踏まえながら、来年度の対象業務や実施方法を具体化していくこととしている。

こうした取り組みにより、内部事務に要する業務時間の削減を図り、職員が企画、判断、調整など、より注力すべき業務に時間を振り向けることができる環境を整えていきたい。



その他の質問
・地域公共交通の活性化について



山下　竜太郎 議員

市立保育園給食の安定的供給を

問　**市立保育園の給食は物価高騰の中、調理現場から「調味料が無添加から安い添加物入りに変更された」など品質低下の声がある。納入業者からは、本市担当課との交渉で予定の発注がないという連絡不足や、配送コストを考慮しない価格交渉の話を聞く。子ども達など関係する皆さんに影響が及んでいる状況を踏まえ問う。**

①現場の実態を把握しているか。

②納入業者とどのように連携しているか。

③持続可能な給食運営のため、公費支援を拡充しないか。宮島ボートレース企業団配分金を不足分の補填に使えないか。私立保育園への支援はできないか。

答　①給食検討会で情報共有している。

②地産地消の推進やセーフティーネット[※4]の維持で、市内事業者との連携・協力は不可欠である。安全面や栄養面に配慮し、公定価格を意識した食材への転換を業者と調整する。今回は価格引き下げの依頼でなく、高価格の物からコストを意識した物への転換をお願いした。昨年度の実費は5400円、今年4月～7月はコストを意識した食材調達で、実費500円と効果が出た。

③食材料費の公費負担の拡充は考えていない。子育てはボートレースの趣旨に合致し、私立保育園の運営費などに活用している。バランスを取りながら充当したい。



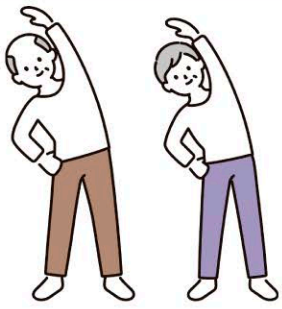
秋山　妙子 議員

健康に年を重ねるため骨粗しょう症予防と検診を

問　**高齢期の骨折は、介護が必要になる大きな原因の一つである。健康寿命を延ばすための日常生活の見直しや、骨粗しょう症による骨折を予防することが重要と考える。そこで次の点を問う。**

①健康寿命を延ばすため、市が現在行っている取り組みは。

②本市でも、県内他自治体で行っているような骨粗しょう症の節目検診に公的補助を取り入れる考えはあるか。



答　①計画に基づき、フレイル予防や食育の推進など各世代に応じた健康づくりを推進している。今年度はゆめタウン廿日市において「健康パーク」と題した新たなイベントを開催し骨密度測定、食や健康づくりなどに関する啓発を行った。

②国は、健康増進法に基づき、40歳から70歳までの5歳刻みの節目年齢の女性に対する骨粗しょう症検診を、市町村が実施する健康増進事業の努力義務としている。検診受診後の適切な治療や保健指導に結びつけていくことが重要と考え、他自治体の取り組みも参考にしながら、実施方法や体制の在り方を検討する。



井手ヶ原　誠 議員

大規模地震の被害状況を踏まえた防災対策は

問　**地震の被害想定の対象は、五日市断層から南海トラフ地震に変更となっているが活断層の被害も同時に想定すべきでは。そこで次の5点を問う。**

①五日市断層の被害想定など最新評価を把握したうえで、廿日市市地域防災計画に反映しているか。

②断層直上・直近の避難所となる公共施設の安全性評価は十分か。

③避難所建物の耐震化だけでなく、駐車場などの耐震性について考えているか。

④車中泊や避難所でのストレスによる災害関連死の防止対策はどのように考えているか。

⑤ゆめタウン廿日市との「災害に関する協定」の見直しの必要性は。

答　①断層型地震で被害想定をし、地域防災計画に掲載しているが、ハザードマップにスペースの関係もあるが掲載について考える。

②③長期の避難場所として想定される施設は安全性を確保している。駐車場などは被害が発生した場合、速やかに復旧工事が行える体制を整えている。

④県の「能登半島地震を踏まえた被災者支援の強化の検討会」が策定した報告書を参考に実効性のある取り組みを行っていく。

⑤現時点で見直しは必要ないが、施設の安全確認の方法や連絡連携体制などの運用面について再確認を行いたいと考えている。



高橋　みさ子 議員

電子投票の導入を検討せよ

問　**電子投票を導入する動きが復活しつつある。電子投票は、自治体が条例を制定すれば導入でき、過去にも実施されたが、機器のトラブルで選挙が無効になるなど実施が途絶えていた。その後、総務省が運用指針を変更、2024年、8年ぶりに四條畷市でトラブルもなく実施された。その後、善通寺市などでも実施されている。電子投票は、書き間違いなどによる無効票がなくなり、開票時間の短縮や職員の負担軽減が期待される。画面に表示された候補者名をタッチペンで選択する方法で投票でき、操作が簡単なため高齢者にも好評である。また、自書できない障がいのある方の投票環境の改善にも繋がる。導入を検討してはどうか。**

答　無効票がなくなることで有権者一人ひとりの意思をより正確に反映できる。また、開票作業の迅速化による職員の負担軽減など多くのメリットがある。一方、システム導入などに5千万円の追加経費が見込まれ大きな課題である。全国で導入の動きが広がっている状況は注視しており、先進自治体の効果や課題に関する事例収集、近隣自治体との情報交換、技術革新によるコスト低減など見極め、最適な導入のあり方を多角的に検討したい。

その他の質問
・放課後の子どもの居場所について



半明　晃二 議員

食料自給率向上の姿勢

問　**我が国の食料自給率は主要先進国の中でも最低水準にある。自給率が下がれば食料安全保障上のリスクにもなる。**
①本市の食料自給率は、他の市町と比較してどの位置にあるのか。
②自給率が低いと生活面で弊害をもたらす。今後、農業政策上どのようにしていくのか。

答　①食料自給率は、カロリーベースで38％から39％で推移しているが、広島県は21％から23％で全国平均を下回っている。本市は、簡易的な計算シートで試算すると、5％となっており、広島県全体から見てもかなり低い数字となっている。
②国産農産物の消費拡大の推進や食品ロス削減の取り組みなど市民、事業者、行政が一体となって取り組んでいく。

本市と大竹市に混在する飛び地の不都合解消

問　**大野地域の松ヶ原地区と栗谷地区の一部が、昭和29年の合併の際に飛び地となり、行政サービスや土地利用にも不都合なことが発生していると思うが、解消する方法について問う。**

答　長年築いてきた歴史的背景を尊重し、現在の区域を前提として行政サービスを安定的に提供していくことを基本とし、住民の要望を真摯に受け、必要に応じて大竹市とも連携し対応したい。

その他の質問
・市営スーパーマーケット出店について



吉屋　智晴 議員

市民も職員も酷暑から守ろう

問　**令和8年4月、気象庁は最高気温40度以上の日を酷暑日と決定した。災害級の夏の暑さから、市民と市職員の命を守ることが重要と考え、以下を問う。**
①今年度の熱中症搬送件数は過去と比較してどうか。
②市職員全体で、熱中症事例はあったか。
③消防部局での熱中症予防対策はどうか。

答　①熱中症疑い含め、4月～8月で、令和6年度82件、7年度89件、今年度75件で、若干減少に転じている。
②令和7年度1件、今年度1件であった。
③5月頃から、20kgの装備装着の上で、発汗を促し暑さに身体を慣らす暑熱順化のトレーニングを行っている。現場出動の際は、保冷剤を専用のベストや防火衣に入れ身体の冷却を図っている。出動車両には飲料水を常時積載し、不足の場合は補給部隊を派遣している。現場活動が長期化、または救急出動が連続する際には、早期に交代要員を投入している。

問　**連続出動の合間で、コンビニやスーパーに立ち寄ることを可能にすべきではないか。**

答　連続出動時などの利用を禁止してはいないが、若干の利用しにくさはある。市民のかたがたの生命と財産を守るためにも、現場の負担を軽減できるように努めていく。

その他の質問
・持続可能な観光地域づくりに向けて



松浦　るみ 議員

木のまちはつかいち ブランド力向上へ

問　**「木のまちはつかいち」を本市ならではの魅力として市内外に発信し、地域産業、観光、教育、環境、暮らしなどにつなげていくことが、ブランド力の向上につながると考え、次の点を問う。**

①市産材を選択しやすい環境を整えるため、市産材を一定量以上使用した新築やリフォーム等に対し、利用量に応じた補助制度を創設する考えはないか。

②「木のまちはつかいち」を次世代に継承するため、学校教育等において、地域の森林、木材産業、木工文化など、実際に木に触れる学ぶ機会を体系的に充実させる考えはないか。

③「木のまちはつかいち」を広く発信するためにも、林野庁が進める「森の国・木の街」づくり宣言へ参画する考えはないか。

答　①民間建築物への補助制度を実施するためには、安定供給と同時に流通ルートの確立が重要。市内木材関連事業者との意見交換や、地元工務店などへの聴き取りも行いながら、実効性のある取り組みとなるよう、検討を進めていく。

②今後も、地域事業者等の協力をいただきながら、「木のまちはつかいち」に対する意識の醸成に一層努めていく。

③観光交流エリアへの（仮称）もくたまパークの供用開始時期など、市内外の効果的な発信のタイミングを考えながら検討していきたい。



大畑　美紀 議員

会計年度任用職員制度 抜本的改善を

問　**会計年度任用職員は低賃金・不安定雇用で女性が多いことから、経済格差や女性差別につながる。無期雇用の職員体制を基本とすべきと考え問う。**

①会計年度任用で、一般職・専門職の実態は。

②会計年度任用職員の雇用年数毎の人数は。

答　①令和8年4月1日時点で一般事務補助員はフルタイム19人、パートタイム237人合計256人。特定の業務従事者はフルタイム106人、パートタイム1047人合計1153人である。

②新規採用79人、2年度目140人、3年度目132人、4年度目106人、5年度目88人、6年度目80人、7年度目以上784人である。

PFASの検査は

問　**全国的に産廃処理場周辺などでPFASの汚染が発生している。上水道未普及地区の井戸水や、産廃埋め立て地周辺など水質の安全が懸念される箇所のPFOS及びPFOAなどの水質検査を市で行う考えはないか。**

答　公共用水域や地下水は、指標値を設定し都道府県が水質測定を実施。広島県の令和8年度の計画では、本市内で、玖島川、永慶寺川、御手洗川、可愛川の4箇所で実施予定である。井戸水の一律検査をする予定はないが、水質の懸念が具体的に生じた時には関係機関と協議したい。

その他の質問
・教育条件の整備



水野　善丈 議員

若手職員の人材育成と定着を図る取り組みは

問　**若手職員の退職者の推移は。**

答　採用後5年以内の20代職員の退職者数は、令和3年度が1人、令和4年度が5人、令和5年度が1人、令和6年度が6人、令和7年度が2人である。

問　**本市が取り入れている「ソリューションフォーカス手法」のように、できなかった理由を探すより、既にできていることや実現可能なことに焦点を当て、課題解決していく思考は重要である。人事評価においても、減点型ではなく、人の長所に目を向けた評価になっているのか問う。**

答　短所ではなく長所を伸ばす人事評価を重点事項と考えている。職員が大事にする合言葉として、「一緒に頑張ろうや」「それもええね」「やってみようや」を掲げており、現場で前向きに取り組みができるように努めていきたい。

問　**若手職員の離職率・定職率など、成果指標を加えてはどうか。**

答　今後は、既に設定している成果指標に加えて、提案のあった若手職員の離職率や採用後の定着状況についても新たな指標として位置づけ、人材育成・確保施策の継続的な改善・推進につなげていきたい。



用語説明

❶スクールドッグ（P7）
学校に常駐または定期的に訪問し、子どもたちの情緒安定・学習意欲向上を支援するために専門的トレーニングを受けた犬。

❷登録有形文化財（P8）
建造物等の保存と活用を促進するために国が登録する制度で、文化財としての価値を有するものの、指定制度ほどの厳格な保護を必要としないものを対象とする。現状変更は届出制で、所有者の自主的な保存を尊重する緩やかな保護が特徴。

❸重要有形文化財（P8）
文化財保護法に基づく指定制度で、歴史的・芸術的・学術的に価値の高い有形文化財を国が特に重要と認めて指定するものを対象とする。現状変更には文化庁の許可が必要となり、厳格な保護を図る制度。

❹セーフティーネット（P9）
「安全網」と訳され、網の目のように救済策を張ることで、全体に対して安全や安心を提供するための仕組み。

❺ＰＦＡＳ（P11）
有機フッ素化合物の総称。1万種類以上が存在。

❻ＰＦＯＳ・ＰＦＯＡ（P11）
PFASの一種。PFOS（ペルフルオロオクタンスルホン酸、通称ピーフォス）及びPFOA（ペルフルオロオクタン酸、通称ピーフォア）は界面活性剤として幅広い用途で使われてきた。いずれも難分解性、高蓄積性、長距離移動性という性質を持つため、国内で規制やリスク管理に関する取り組みが進められている。

❼ソリューションフォーカス手法（P11）
問題の原因追及ではなく、望ましい未来と既にうまくいっている部分に焦点を当てて解決策をつくる対話・支援の技法。

❽サウンディング（P13）
あるテーマについて意見や情報を集めるための事前調査。ここではサウンディング型市場調査のこと。事業や公共サービスの計画を始める前に、民間企業などの意見やアイデアを直接聴き取る調査手法。

❾イニシャルコスト（P13）
初期費用、一時費用のこと。　一方、維持管理など継続的に発生する費用はランニングコストという。

❿ガバナンス（P14）
組織が健全・適切な運営を行うため、自ら管理・統制すること。

⓫モニタリング（P14）
業務の履行確認や評価を行い、継続的に管理・監督すること。

⓬リスクマネジメント（P14）
リスクを想定し、損失を回避もしくは軽減するための継続的な管理活動。

未来を話そう！はつかいち子ども議会2026

8月22日、本市の市立・私立中学校11校から選出された子ども議員が、本会議場で、市執行部に対し一般質問を行いました。広島県立廿日市特別支援学校子ども議員からは、「はつかいちご」のＰＲ方法について発表がありました。

子ども議会実施にあたって、市が行うプレ学習会に議会運営委員会委員が参加し協力しました。



議員全員協議会

全議員に重要な取り組みについて説明がありました

平良丘陵開発観光交流エリアにおける基本計画等の進捗及び木育体感施設の整備手法等について

基本計画等の進捗状況について

昨年10月20日の議員全員協議会で示された基本計画の変更点および進捗状況について、改めて説明がありました。

土地利用計画の変更

計画地の全体を、次の3つのエリアに分割する。

①観光・交流施設エリア

・高台の15階建てホテルを、低層ホテル及び温浴・サウナ・プールに変更する。

・その他の宿泊機能はエリア内に点在させることで、当初計画の200室程度を確保する。

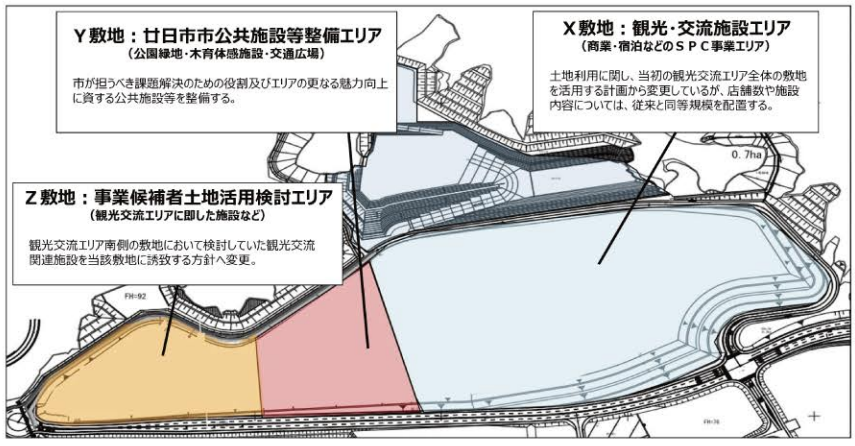
・商業店舗数は当初見込みどおり70～80。

②廿日市市公共施設等整備エリア

・公園緑地、木育体感施設、交通広場の導入は当初計画のまま。

③事業候補者土地活用検討エリア

・工場見学も可能な工場等の誘致を検討する。



その他進捗状況

店舗なども含め配置計画、モデル棟の検討が進行。入居予定の店舗等との交渉も開始する。

木育体感施設の整備手法等について

昨年議員全員協議会で示された公共施設等の整備方針について、具体的な木育体感施設等の整備手法等について説明がありました。

事業手法の検討に係るサウンディング※8意見交換会（8月1日）

公募実施方針案を公表し、5社と意見交換およびヒアリング実施。

対象は、高校生・大学生・子育て世代。参加者数23名。どんな公園・施設であれば利用したいかなど、多くの意見が出ました。



施設配置イメージ図

整備・維持管理・運営の手法等

(1)木育体感施設

〈整備手法〉

市が与える許可により、民間事業者が都市公園に公園施設の整備等を行う（設置管理許可方式）。

〈整備費への支援〉

市が求める必須機能に対してイニシャルコストを支援し、民設民営の施設としての整備を実現するため、補助率2分の1（上限4億円）の補助金を支援する。

〈市産木材の活用〉

森林環境譲与税を活用し、事業者へ市産木材を支給する。

(2)公園・緑地

木育体感施設整備事業者による指定管理。

主なQ&A

Q 高台の高層ホテルが、なぜ低層ホテルに変わったのか。

A 事業候補者とホテルの運営事業者との協議で決定された。宿泊エリアを分散させることで、宿泊施設のグレードが幅広となること、また宿泊利用者による飲食店など商業施設利用の増加にも繋がると考えている。

宮島包ヶ浦自然公園利活用に係る進捗状況等について

9月1日、表題の件について、事業者公募の状況や整備計画策定の状況のほか、今後のスケジュールについて説明がありました。

事業者公募の状況

事業者公募までの経過

・7月27日に第1回事業者選定審査委員会を開催し、公募資料案に対する質疑応答を実施。

・委員意見を踏まえ、募集要項・実施方針書・審査基準書・契約書案等計8点を修正。

・8月3日に公募資料一式を市HPで公表し、公募を開始。

審査委員会の構成

学識者2名、地域代表4名、市職員4名（計10名）

公募の主な内容

・事業エリアは3区分（エリア1、2は民間活用、エリア3は市民開放エリア）とする。

・市有地の取り扱いについては、転貸・所有権移転を原則禁止（例外規定あり）。既存建物は鑑定評価額に基づき事業者へ売却。

・地域への配慮については、旅館組合加入、地域事業者との共生、災害時協力などを明記する。

審査基準の概要

事業概要（利活用方針との整合、魅力度、実績）、地域連携、自然環境・戦争遺構の保全、景観維持、ガバナンス（セルフモニタリング含む）で、その他提案については加点がある。また、総合点が6割未満は失格となり、記載不足は2次審査へ進めない。

整備計画策定の状況

関係者や地元住民等の意見を踏まえ、今後実施するハード・ソフトの取り組みをまとめた計画。

環境大臣の認可を得ることで将来的にハード整備の国庫補助の活用が見込める。

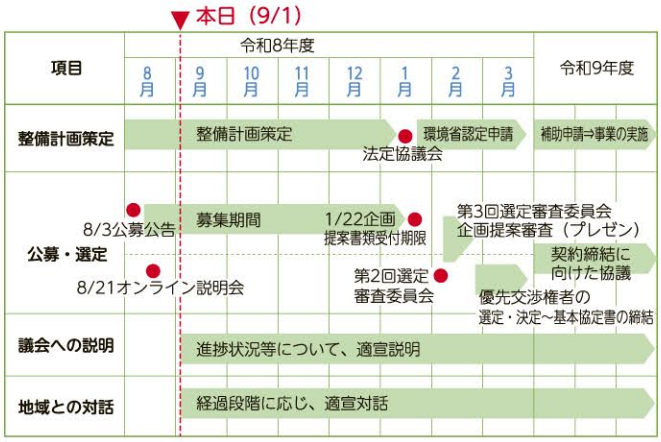
7月に計画策定に対する補助金の交付決定を受け、計画を策定中。

今後のスケジュール

・1月の法定協議会を目指し、整備計画を策定。

・公募を1月22日に締め切り、2月上旬に第2回選定審査委員会開催。

・3月中に優先交渉者の決定、基本協定書の締結を目指す。



主なQ&A

Q 審査委員会の意見は採用されたのか。

A 全て募集要項等に反映済み。

Q 提案の履行をどう担保するか。

A 提案書は「約束」として扱い、行政だけでなく専門家の協力も得てモニタリング[※11]をし、リスクマネジメント[※12]する。

Q 公募への関心状況は。

A オンライン説明会に6社参加し、現地視察申込は4社あった。質問書は9月4日まで受け付ける。

常任委員会議題

総務・文教厚生常任委員会連合審査

開庁時間の短縮等について

「時代に合った行政サービスへの転換」と「職員の働き方改革」を一体的に進めるため、「開庁時間の短縮」と住民票などの「コンビニ交付手数料の引き下げ」が令和9年6月から試行されます。

現行
8:30～17:15
↓
令和9年6月～
(試行)
9:00～16:30

※対象は、本庁舎、あいプラザ、各支所。

※職員の勤務時間に変更はなく、開庁前の準備や閉庁後の整理などの業務を勤務時間内に実施。

※全国的に開庁時間の見直しが進んでおり、県内でも14市のうち3市（安芸高田市・三次市・庄原市）が実施済みで9市が検討中。

・コンビニ交付手数料の引き下げ

現行
戸籍(全部・個人)
事項証明書
450円
住民票の写し、
印鑑登録証明書ほか
300円
↓
令和9年6月～(試行)
一律100円

今後の主なスケジュール

令和9年1月～市民周知
6月～試行開始
令和10年4月～本運用開始（予定）

主なQ&A

Q 市役所にコンビニと同様の機械を置き、利用方法を案内してはどうか。

A 次期契約候補者からコンビニと同じ端末を設置してはどうかとの提案を受けており、設置を考えている。

Q コンビニ交付手数料の引き下げは先行できないのか。

A システム改修もあり、この予定としている。

Q 現行の開庁と閉庁に伴う業務自体は精査や見直しはしないのか。

A 適宜実施していく。

文教厚生常任委員会

部活動の地域展開に関する今後の展開について

今後の中学校における部活動の地域展開方針や手法について説明がありました。

・なぜ地域展開が必要なのか

現在、市内の中学校では生徒数の減少により、部活動の維持が困難になるケースや子どもたちが希望する種目を選択できない状況が生じています。また、専門的な指導者の不足や、教員の働き方改革などの社会課題の解決を図り、こどもたちの「やってみたい」という思いを柔軟に叶えるため、学校単位から地域全体で子どもを育てる仕組みへと転換を図ります。

・今後のスケジュールと目標

「こどもたちの『やりたい』を応援するまちづくり」を目標に掲げ、休日の地域展開を令和11年4月1日から、平日の地域展開実施検討を令和14年3月31日を目途に、地域展開の実現を目指します。

・安心して参加できる環境整備

地域クラブ活動においては、市が一定の要件を満たした団体を認定する制度を導入します。



責任者・指導者・会計・見守り担当などを含めた3名以上のスタッフの構成で、指導者等には研修受講を義務付け、安全管理やハラスメント防止を徹底します。

退職教員や企業人材なども含め、地域の指導人材を把握し、各種団体とマッチングするための人材バンク制度を創設し、地域にあるさまざまな力を結びつけ指導者の確保に努めていきます。

また、保護者の送迎や費用負担といった懸念点については、実態を丁寧に把握しながら、可能な限り低廉な参加費を設定することなどを認定要件とします。

地域展開の推進

子どもたち、保護者、学校、指導者、地域団体などそれぞれの声を聞き、必要に応じて仕組みを見直しながら進めていきます。

また、一般会計補正予算では、学校教育振興一般事業として部活動の地域展開専用サイト作成業務委託料等の予算が組まれました。

主なQ&A

Q 中学校体育連盟の大会はなくなるのか。

A 中学校体育連盟は大会の継続を予定している。地域展開後も大会参加できるよう話し合いをしている。また、生徒が所属する団体によって、大会時期等が異なるので、こちらも調整を進めていく。

Q 団体を作るときに市からの支援があるか。

A 今年度から地域展開に関わるコーディネーターを配置している。指導者や、団体を作る方へのサポートを行っていく。

委員会活動レポート

●議会運営委員会

政務活動費に関する調査のため、7月6日、7日の行程で、同じ調査項目で2つの自治体議会へ行政視察を行いました。

7月6日　兵庫県芦屋市議会
7月7日　宮城県仙台市議会

調査項目

・交付の対象と交付額について
・クレジットカード利用の可否について
・カード利用によるポイントの取り扱いについて
・通信運搬費としての携帯電話の通信費について
・ガソリン代について
・ホームページなどのインターネット使用料について
・議員個人で発行する広報紙の取り扱いについて
・書籍の購入について
・各種団体の総会や意見交換会等の参加費について

いずれの議会も、項目ごとに明確な規定を設けており、使途が明らかになるように取り組まれていました。

各議会の特徴的な取り組み

・芦屋市議会

年度途中での中間監査及び4年に1回の「政務活動費のあり方検討会議」の設置。



・仙台市議会

広報紙運用ルールを別途作成。



委員会の動き

●議会運営委員会

9月10・30日、10月13日
政務活動費に関する調査研究　9月17日

●総務常任委員会

所管事務調査　11月2日
「廿日市市広報戦略基本方針について」

●文教厚生常任委員会

所管事務調査　11月9日
「医療的ケア・重度障害対応型グループホームの実現に向けた取組について」

●産業建設常任委員会

所管事務調査　11月6日
「ため池の現状について」

●広報広聴特別委員会

8月26日、9月10・24・29日、10月6・9・14日に広報さくら原稿作成・校正作業など。



●決算特別委員会

令和7年度決算認定は、9月30日の本会議最終日、10名の委員で構成される決算特別委員会に審査を付託し、指名推薦により、委員長に梅田洋一議員、副委員長に佐々木由華議員を選任しました。

特別委員会は、10月15日、16日及び28日に開催し、12月定例会初日の本会議での委員長報告後全議員による認定の裁決を行います。

委員は次のとおりです。

委員長　梅田　洋一（新政クラブ）
副委員長　佐々木 由華（クラブみらい）
委　員　井手ヶ原 誠（新政クラブ）
松浦　るみ（新政クラブ）
三宅　洋一（無会派の会）
水野　善丈（無会派の会）
吉屋　智晴（クラブみらい）
濱本　紀洋（新政クラブ）
大﨑　勇一（公明党）
高橋 みさ子（成蹊21）

議会の意思を国政へ

文教厚生常任委員会が発議者として提案した２つの意見書を可決しました。

全会一致

小中学校の屋内運動場への空調設備の整備促進を求める意見書（要約）



近年の猛暑により、児童生徒の熱中症対策として学校施設への空調整備が急務となっている。全国の公立小中学校では普通教室への整備が進む一方、屋内運動場等の設置率は22.7％にとどまっている。屋内運動場は教育・地域活動の場であるとともに、災害時の避難所として重要な役割を担う。整備には多額の費用を要することから、国に対し、令和9年度以降の予算の大幅増額、補助率・上限額・補助単価の引上げ、維持管理費への交付税措置の拡充など、十分な財政支援を求める。

賛成多数

学校給食費の抜本的な負担軽減(いわゆる給食無償化)を求める意見書（要約）



学校給食は、児童生徒の健全な成長や食育を支える重要な役割を担っている。国は小学校の給食費負担軽減を進めていますが、物価高騰や地域差により基準額では不足する自治体もあり、中学校では自治体独自の支援が行われている。自治体間の格差や財政負担をなくすため、国の責任で安定財源を確保し、地域の実情に応じた基準額に見直すとともに、令和9年4月から中学校でも負担軽減を完全実施し、小中学校を通じた切れ目のない支援を行うよう求める。

〈議決結果〉会期 令和8年9月1日～9月30日の30日間

令和8年第3回定例会の議案等のうち賛成・反対が分かれたものについて、各議員の賛否の状況をお知らせします。その他の議案等は、全会一致で認定・可決・同意となりました。

議決日	種類	番号	事件名	議決結果	賛成（人）	反対（人）	1 秋山 妙子	2 井手ヶ原 誠	3 新沢 亮二	4 松浦 るみ	5 三宅 洋一	6 佐々木 由華	7 水野 善丈	8 吉屋 智晴	9 山下 竜太郎	10 梅田 洋一	11 山崎 英治	12 坂本 和博	13 濱本 紀洋	14 半明 晃二	15 枇杷木 正伸	16 大﨑 勇一	17 中島 康二	18 北野 久美	19 山田 武豊	20 井上 佐智子	21 大畑 美紀	22 佐々木 雄三	23 高橋 みさ子	24 栗栖 俊泰	25 堀田 憲幸	26 岡本 敏博	27 新田 茂美
9月30日	発議	4	学校給食費の抜本的な負担軽減(いわゆる給食無償化)を求める意見書	原案可決	25	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長

〔表示例〕○･･･賛成　×･･･反対　欠･･･欠席　議長･･･議長職

質疑・討論

発議第４号
学校給食費の抜本的な負担軽減（いわゆる給食無償化）を求める意見書

委員長提案に対するQ&A

Q **学校給食が始まった戦後、給食費が払えない状況でも保護者は負担してきた。もっとほかに使い道があるのではないか。十分な議論がなされて今に至っているのか。**

A 意見書については、文教厚生常任委員会で十分審議した。

反対討論

・本市の学校給食は、小学校は無償化、中学校は半額になっている。これほど飽食の時代において、保護者が最低限の負担をすべきだ。財政が今後ますます厳しくなる中で、永遠に市費負担を続けるのは問題があり異議を言いたい。

賛成討論

・国においても小学校給食無償化の方向である。中学校給食の半額負担については今後議論していかないといけないが、学校給食無償化は昨今の物価高騰などの時勢に合った政策展開である。

はつかいち市議会広報　さくら
No.91　令和8（2026）年11月1日号
発行：廿日市市議会　編集：広報広聴特別委員会　〒738-8501　廿日市市下平良一丁目11番1号　TEL 30-9211

キラリ！ はつかいちの高校生 その41

廿日市高等学校

廿日市高等学校はニュージーランド・ニュープリマス市にあるSpotswood College（スポッツウッドカレッジ）と姉妹校提携を結んでいます。今年は夏休みに10名の生徒が研修団として現地を訪れ、ホームステイや交流授業を体験しました。

バディとなる生徒とは出発前からメール等でやり取りをしていたため、実際に会えた時の喜びは一層大きかったようです。11日間の研修旅行では他にもファームステイや自然文化研修、観光地での自主研修など様々なプログラムがあり、今回の経験を通じて生徒たちは国際交流への関心と意欲がさらに高まりました。



次回12月定例会（予定）

日	月	火	水	木	金	土
		12/1	2	3	4	5
		本会議				
		（議案説明）	（一般質問）	（一般質問）	（一般質問）	
6	7	8	9	10	11	12
			委員会	委員会	委員会	
13	14	15	16	17	18	19
	委員会（予備日）	広報広聴特別委員会			本会議（委員長報告等）	
20	21	22	23	24	25	26
	広報広聴特別委員会					
27	28	29	30	31		

9：30開会（変更の場合があります）
本会議はインターネット中継（手話通訳の同時配信）を行っております。

議会を見学しよう

廿日市市議会では皆さんの傍聴をお待ちしております。傍聴をご希望の方は、議会開催日に本庁北側２階の議会事務局窓口までお越し下さい。

ご意見をお聞かせください

議会へのご意見はホームページの問い合わせ・意見送信フォームをご利用ください。

本会議の視聴は、パソコン・スマホが便利



動画配信

録画映像も公開しておりますので、見逃した方もご覧になれます

議会に参加しよう

議会に対して陳情等を提出することができます。陳情とは、特定の事項について議会などに実状を訴え、適切な措置を要望することです。

編集後記

広報広聴特別委員
佐々木 由華

今年度、私たちは議会をより身近に感じ、多様な市民の声を集められるよう、さまざまな規定の見直しや新たな取り組みを行っています。

より良いまちづくりにつなげるため、未来を見据えた新たな挑戦が必要です。

私はこの秋、チームはつかいちとして、市民の方と議員の有志でリレーマラソンに挑戦します。

運動不足を痛感中ですが、仲間の足を引っ張らないよう、犬の散歩とステッパーで体力づくりに励んでいます。

議会の取り組み同様、私自身も挑戦する気持ちを忘れず、皆さまの声を力に、これからも励んでまいります。

廿日市市議会ホームページ　廿日市市議会　検索

目の不自由な人のため
■音声読み上げのための「市議会広報さくら」テキスト版をホームページに掲載しています。
■「市議会広報さくら」のデイジー図書、点訳本があります。　■問い合わせ　社会福祉協議会 TEL20-0294

VEGETABLE OIL INK　市議会広報は、植物油インキを使用しています。